

日頃の備えが家族や地域を守る

大雨や台風が来る前に確認したい4つのポイント

危機管理課危機管理係 ☎(63)2158

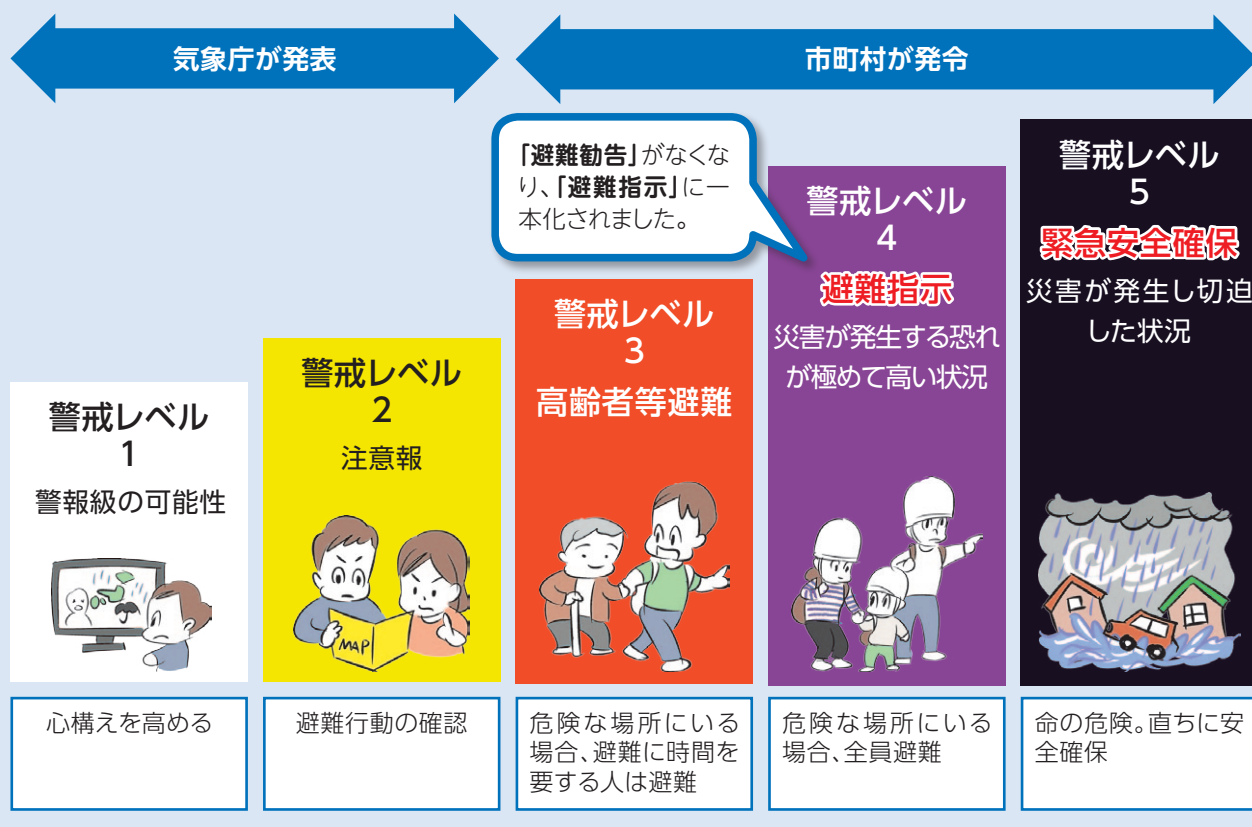


平成27年関東・東北豪雨や令和元年東日本台風は、本市をはじめ多くの自治体に災害を引き起こし、深い爪痕を残しました。

いつ起こるわからない災害には、日頃からの備えが重要。今回は防災対策における4つのポイントをピックアップし紹介します。

POINT ① 警戒レベルに応じた避難行動を確認しておきましょう。

「警戒レベル」は、大雨などの際に発表され、防災情報を5段階のレベルに分類したものです。防災情報を確実に取得し、それぞれのレベルと自分たちが取るべき行動を「避難行動判定フロー」(次ページ)で確認しておきましょう。



「避難勧告」がなくなり、「避難指示」に一本化されました。

市から防災情報を入手しましょう

市では、災害の発生が予想される場合などに、防災情報伝達アプリや災害情報メールなどで防災情報をお知らせしています。

事前に登録し、大雨や台風の時などは、積極的に情報を集めましょう。

防災情報伝達アプリ
(スマートフォン)

iPhoneの場合
(App Store)



Androidの場合
(Google Play)

災害情報メール
(フィーチャーフォン・ガラケー等)

下のQRコードにアクセスするかkanuma@entry.mail-dpt.jpへ空メールを送信してください。



避難行動判定フロー

スタート

「防災マップ&マニュアル」(※)などで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※「防災マップ&マニュアル」「鹿沼市洪水浸水ハザードマップ」は、浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を着色した地図です(4ページ参照)。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

Q1

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどに居住している人は、鹿沼市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅外に避難が必要です。

例外

■**浸水の危険があっても、以下に当てはまる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。**
①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる水・食糧などの備えが十分にある
■**土砂災害の危険があっても、十分堅固なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。**

はい

Q2

自身または一緒に避難する人は、避難に時間がかかりますか？

いいえ

Q3

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

Q3

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。
(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3が出たら、**指定緊急避難場所に避難**しましょう。

はい

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。
(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル4が出たら、**指定緊急避難場所に避難**しましょう。

POINT ② 地域の防災力を強化しておきましょう

災害時には、地域のつながりが被害の拡大を防ぎ、命を守ることにつながります

防災訓練に積極的に参加することで、近隣の人と顔見知りになり、地域での協力体制を高めることができます。



POINT ③ いざというときの非常持ち出し品を準備しましょう。

素早く避難できるように、日頃からバッグに詰めるなど準備しておきましょう。

その際自分だけに必要なもの(薬、介護用品、ベビー用品、ペット用品等)も忘れないようにしましょう。



ローリングストックで賢く備蓄(備蓄目安は3日分)

非常時にも役立つ食料を少し多めに買い、使ったら買い足していく方法が「ローリングストック」です。



POINT ④ 家族で防災意識を高め情報を共有しておきましょう。

日頃から家族で話し合い、避難場所や避難経路の状況を確認しておきましょう。

また、身体の不自由な人や一人暮らしの高齢者の近くの人、いざという時のため、日頃から見守ってください。



“防災散歩”で避難時の危険箇所をチェック



①今いる場所で最も安全な場所をチェック



②側溝やマンホール等の段差をチェック



③急な斜面・河川・用水路などをチェック



④避難所以外に避難できそうな場所をチェック

防災マップで危険な場所や避難所を確認しましょう

「防災マップ&マニュアル」「鹿沼市洪水浸水ハザードマップ」等で、土砂災害や浸水洪水による危険箇所や、指定緊急避難所等を確認できます。

上記のマップは、市役所および各コミュニティセンターで入手できます。



防災マップ
&
マニュアル



洪水浸水
ハザード
マップ

●見直しにより、下記の指定緊急避難場所の取り扱いを変更しました。

地区名	主な避難場所	避難場所から外れる施設
西大芦	西大芦コミュニティセンター、旧西大芦小学校【追加】	—
東部地区	中央小学校、情報センター、県立鹿沼高等学校、県立鹿沼商工高等学校、菊沢東小学校、東部台コミュニティセンター、みどりが丘小学校	東小学校、東中学校 ※ただし、地震や避難が長期化した場合の利用は継続します。